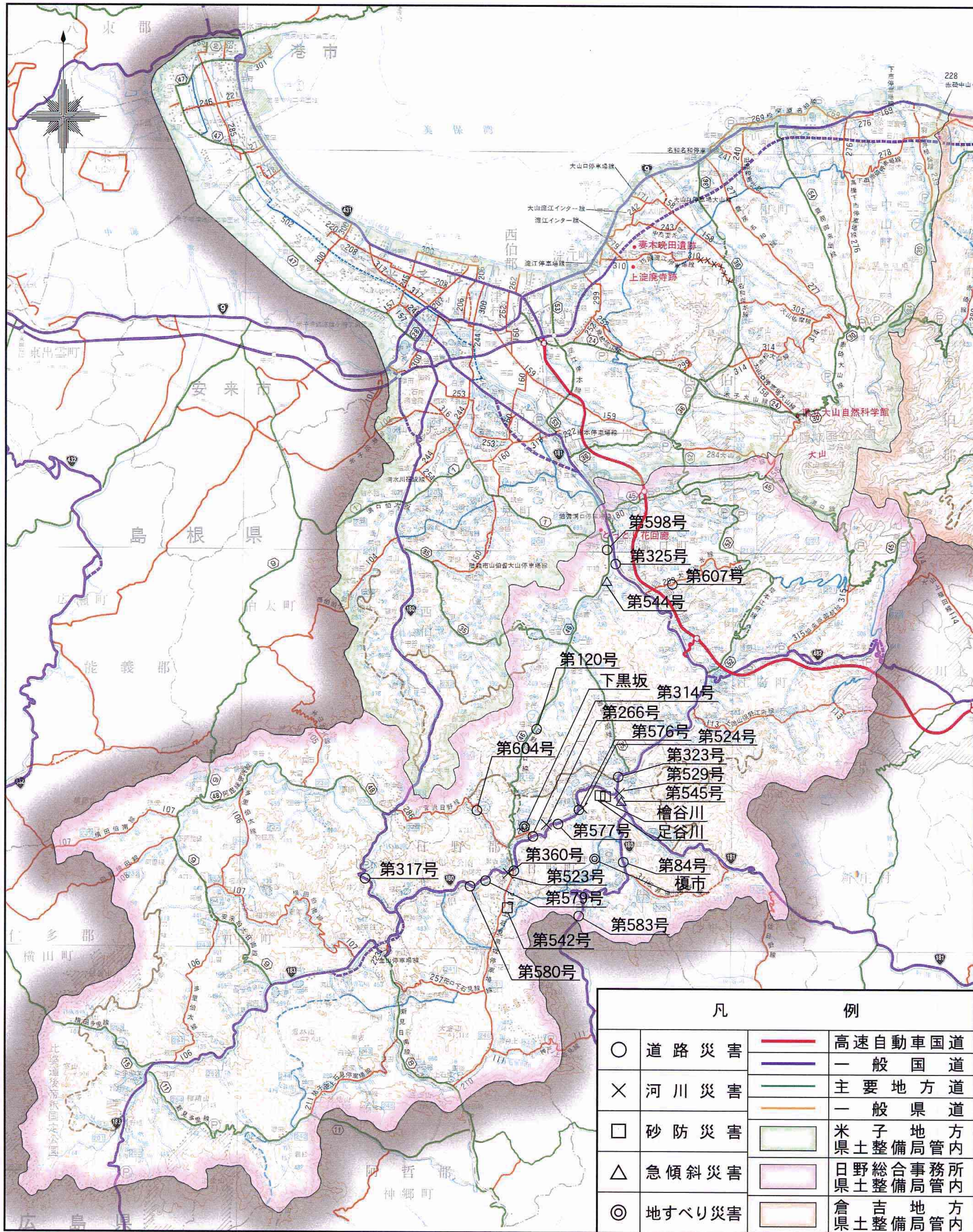


5. 災害復旧事例



事例紹介箇所位置図

1 : 250,000

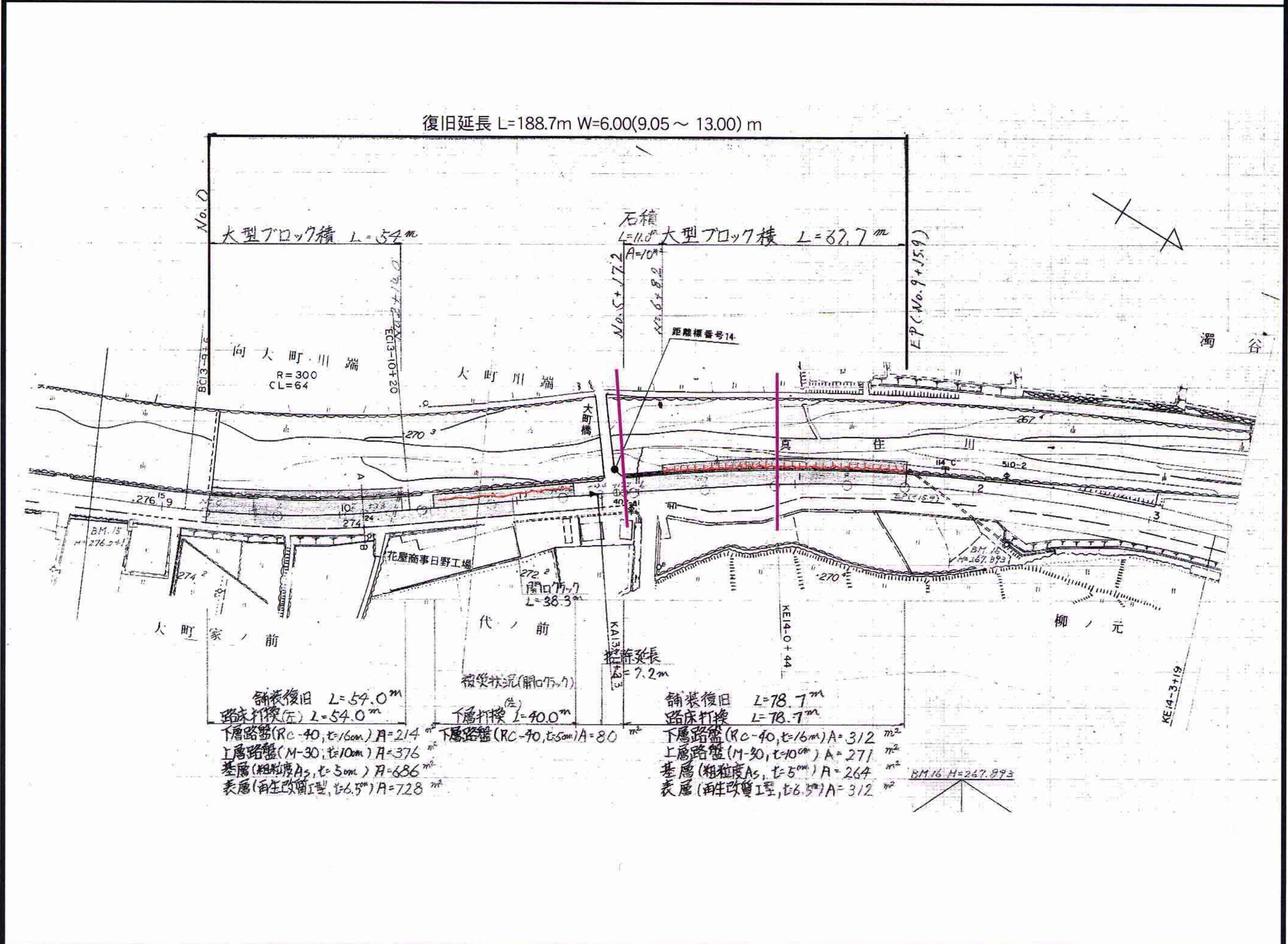


5.1 日野総合事務所県土整備局管内

工事番号	工事名	施工位置	頁
12年災第 84号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町濁谷	26
12年災第 120号	主要地方道日野溝口線道路災害復旧工事	日野郡溝口町福岡 2号	28
12年災第 314号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町下菅	48
12年災第 317号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町福永	30
12年災第 323号	一般国道 181号道路災害復旧工事	日野郡日野町根雨	32
12年災第 325号	一般国道 181号道路災害復旧工事	日野郡溝口町宮原	49
12年災第 360号	主要地方道日野溝口線（黒坂橋）橋梁災害復旧工事	日野郡日野町黒坂	34
12年災第 576号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町本郷 4号	36
12年災第 577号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町本郷 7号	38
12年災第 579号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町小河内 1号	40
12年災第 580号	一般国道 180号道路災害復旧工事	日野郡日野町小河内 2号	42
12年災第 598号	主要地方道日野溝口線道路災害復旧工事	日野郡溝口町宇代	44
12年災第 604号	一般県道菅沢日野線道路災害復旧工事	日野郡日野町久住 3号	46
12年災第 607号	一般県道大滝白水線道路災害復旧工事	日野郡溝口町大坂 3号	50
12年災第 583号	一般国道 180号（明地トンネル）トンネル災害復旧工事	日野郡日野町門谷	51
12年災第 266号	一級河川日野川水系日野川右岸河川災害復旧工事	日野郡日野町根妻	52
12年災第 523号	一級河川日野川水系日野川左岸河川災害復旧工事	日野郡日野町黒坂 2号	53
12年災第 524号	一級河川日野川水系日野川外 1 左右岸河川災害復旧工事	日野郡日野町本郷	54
12年災第 529号	一級河川日野川水系坂井原川右岸河川災害復旧工事	日野郡日野町根雨	55
12年災第 542号	一級河川日野川水系滝山川左右岸砂防災害復旧工事	日野郡日野町中菅	64
12年災第 一 号	一級河川日野川水系檜谷川災害関連緊急砂防工事	日野郡日野町本郷	56
12年災第 一 号	一級河川日野川水系足谷川災害関連緊急砂防工事	日野郡日野町本郷	60
12年災第 544号	古市地区急傾斜地災害復旧工事	日野郡日野町古市	65
12年災第 545号	根雨地区急傾斜地崩壊防止施設災害復旧工事	日野郡日野町根雨	66
12年災第 一 号	榎市地区災害関連緊急地すべり工事	日野郡日野町榎市	68
12年災第 一 号	下黒坂地区災害関連緊急地すべり工事	日野郡日野町下黒坂	72

番号	12年災 第 84 号	震央からの距離	9.8 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯 35° 12.2' / 東経 133° 26.7'
河川名・線路名等	一般国道180号	工事概要	※護岸崩落箇所については、「大型ブロック積工」で復旧した。 <input type="checkbox"/> 大型ブロック積工 (3段) A = 477.0m ² <input type="checkbox"/> 表層工 (t=6cm) A = 1,039.0m ² <input type="checkbox"/> 基層工 (t=5cm) A = 950.0m ² <input type="checkbox"/> 上層路盤工 (t=10cm) A = 648.0m ² <input type="checkbox"/> 下層路盤工 (t=16cm) A = 536.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡日野町濁谷		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	88,057千円		
被災状況及び形態	※国道180号の河川兼用護岸のうち大町橋を挟んで上流側54m、下流側約68mの区間がそれぞれ路側帯より真住川に崩落した。		

平面図 (S=1/2000)



被災状況写真

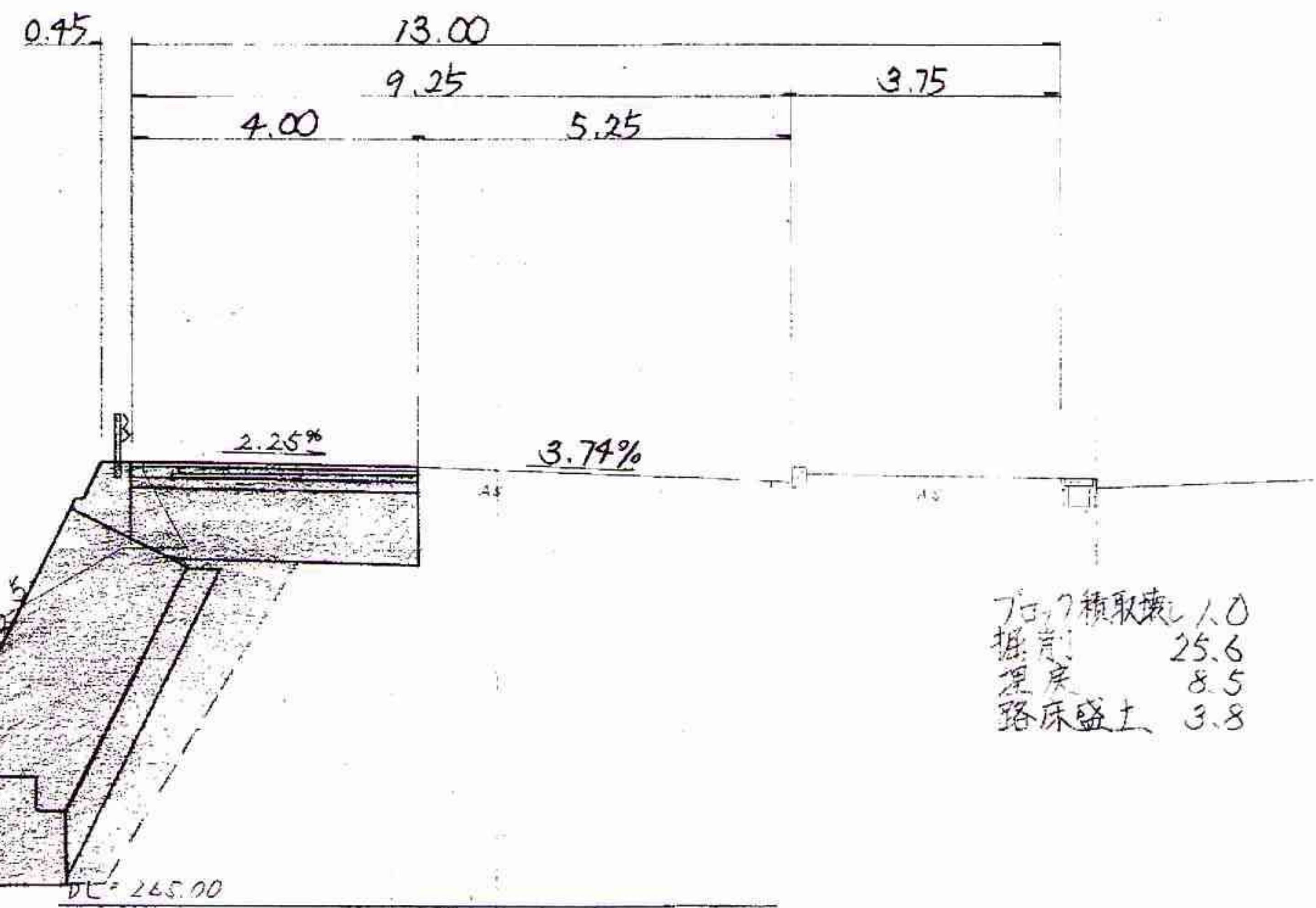


被災状況写真

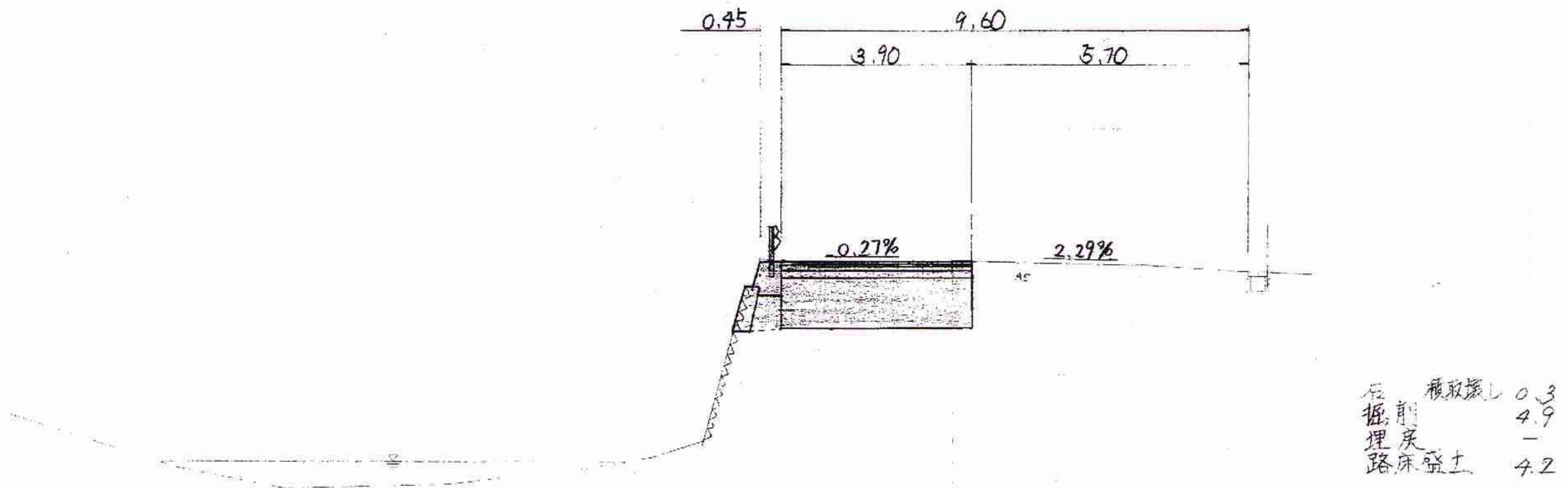


標準断面図 (S=1/200)

(No.8)



(No5+17.20)

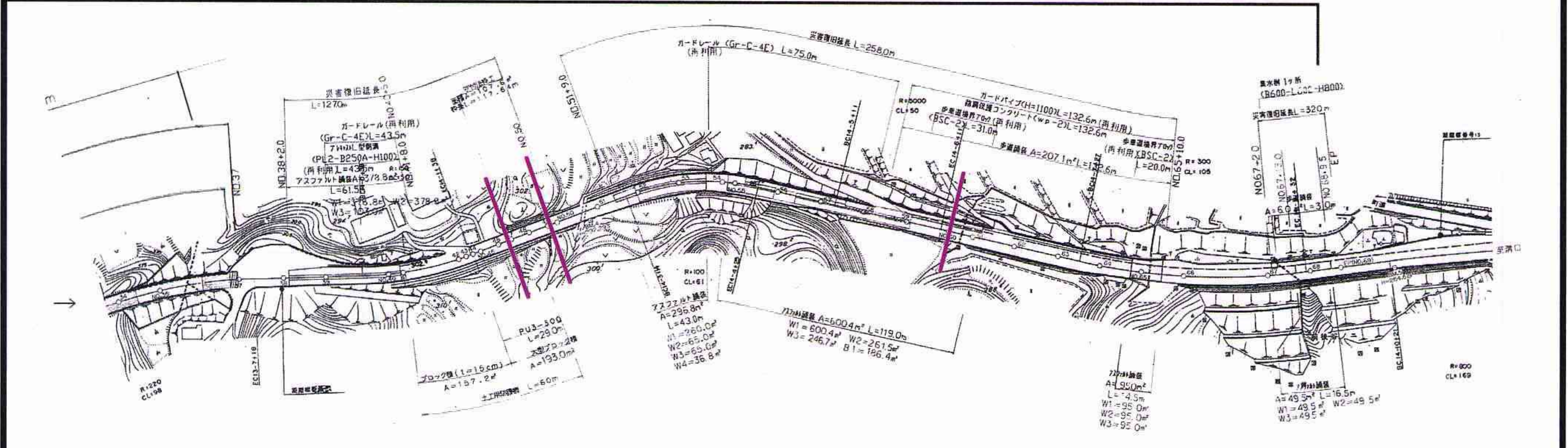
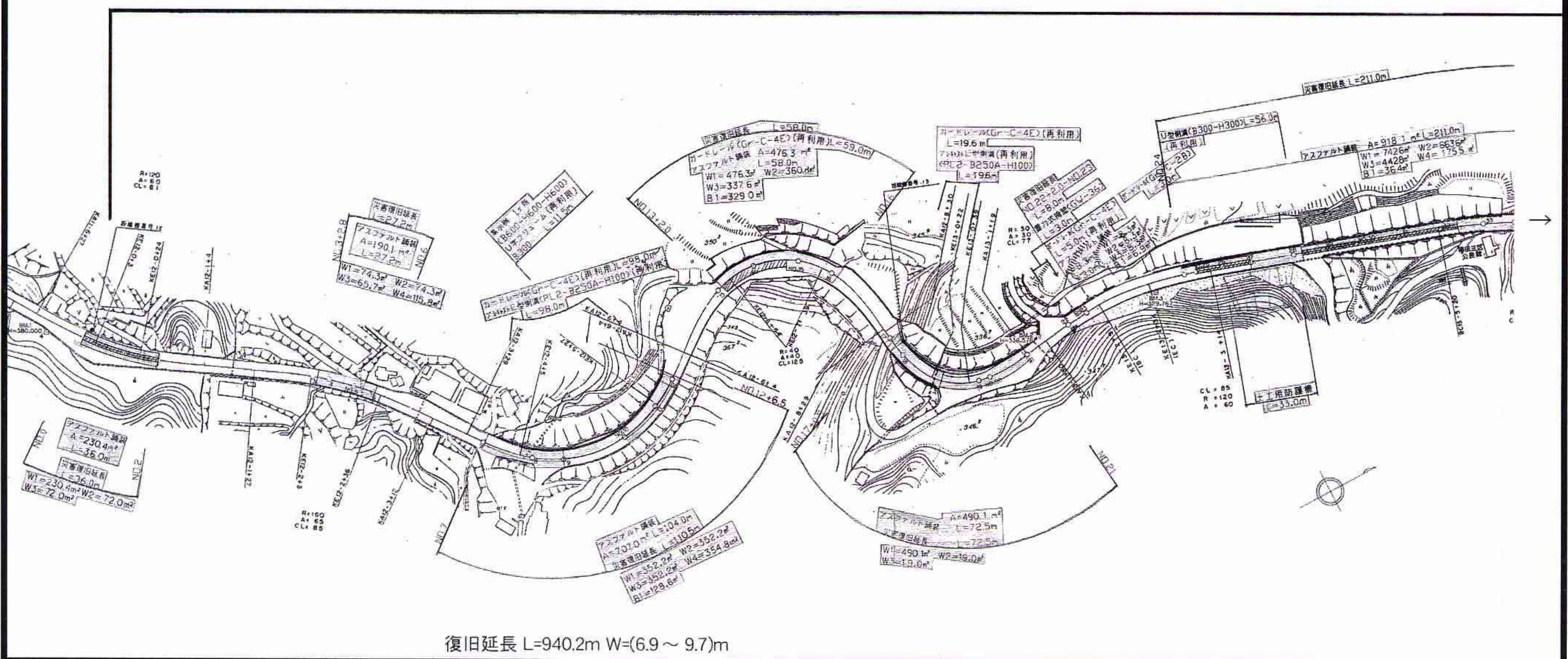


復旧状況写真



番号	12年災 第 120 号	震央からの距離	3.2 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 14.7' / 東経133° 23.5'
河川名・線路名等	主要地方道日野溝口線	工事概要	※No.47付近のブロック積については、変状の著しい側の法面は「大型ブロック積工」による置き換えを、片方の法面は「吹付法砕工」による補強により復旧した。 □現場吹付法砕工 (F300-2000×2000) A = 114.0m ² □ロックボルト工 (D22) N = 33本 □大型ブロック積工 (1:0.5) A = 193.0m ² □ブロック積工 A = 157.0m ² □表層工 (t = 6cm) A = 3,790.0m ² □表層工 (t = 4cm) A = 5.0m ² □歩道表層工 (t = 3cm) A = 213.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡溝口町福岡2号		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	83,185 (内仮工事 1,983) 千円		
被災状況及び形態	※No.47の掘割り法面にあるブロック積擁壁は上下車線とも後背地に亀裂が入るなど危険な状態であった。 ※応急処置として「大型土のう」による押え盛土を実施した。		

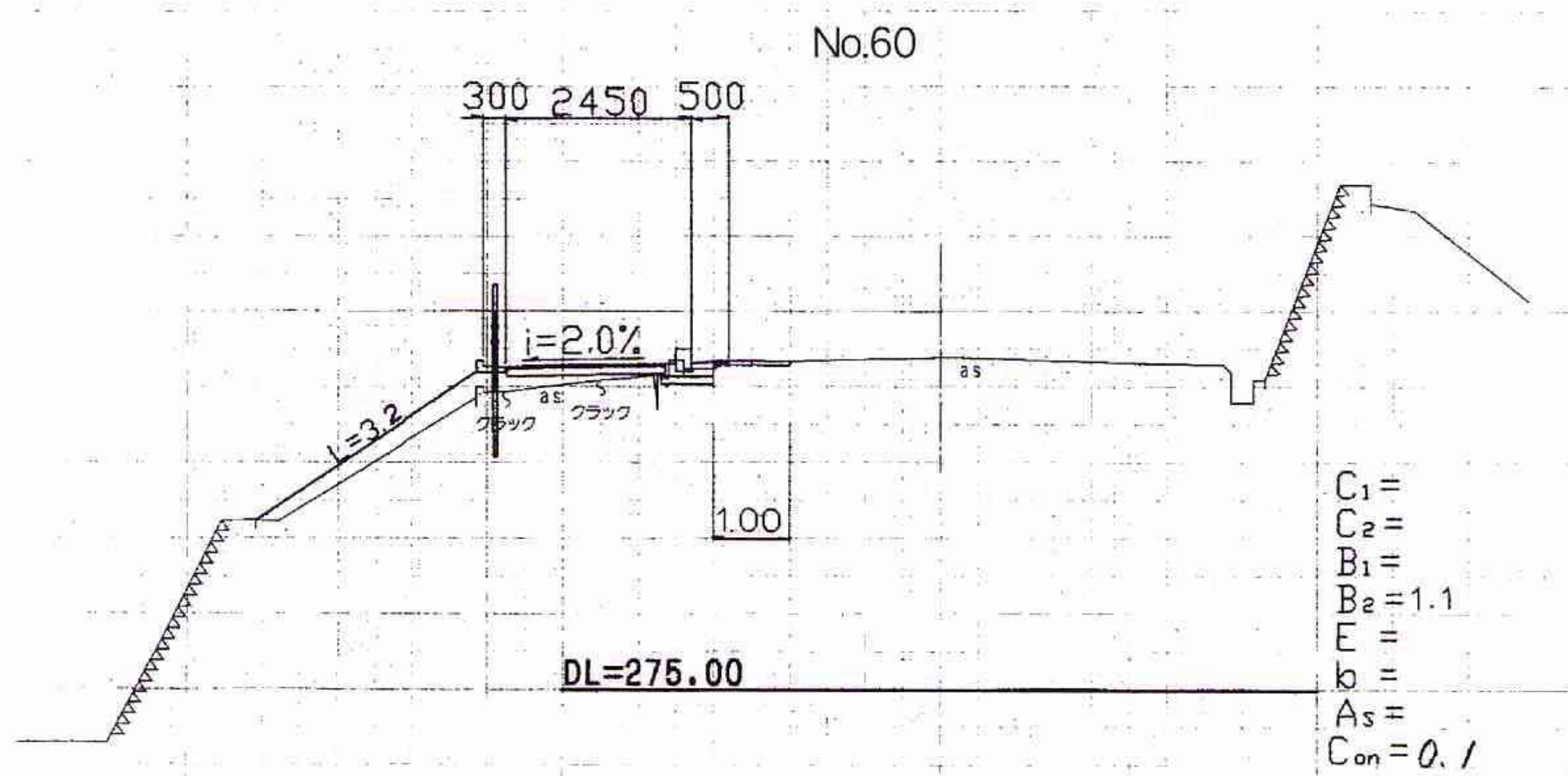
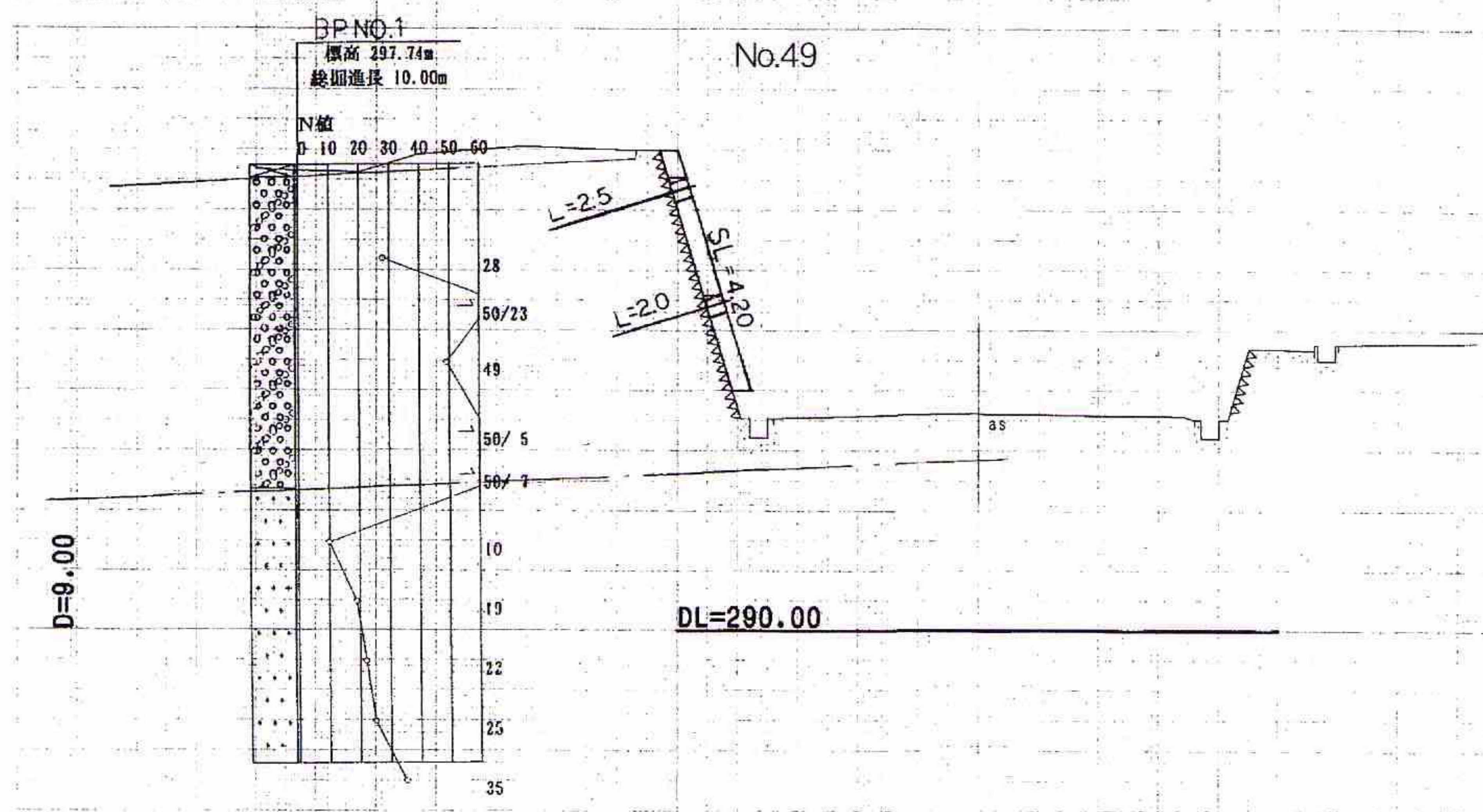
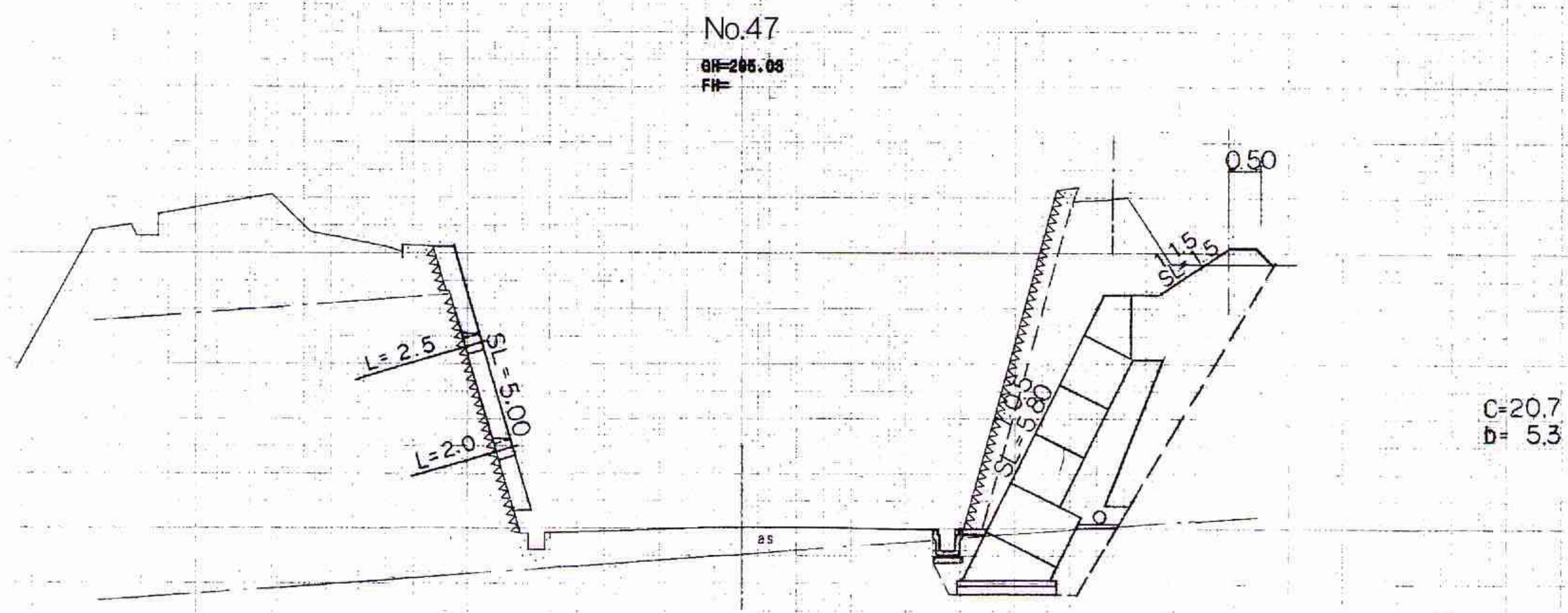
平面図 (S=1/4000)



被災状況写真



対策工断面図

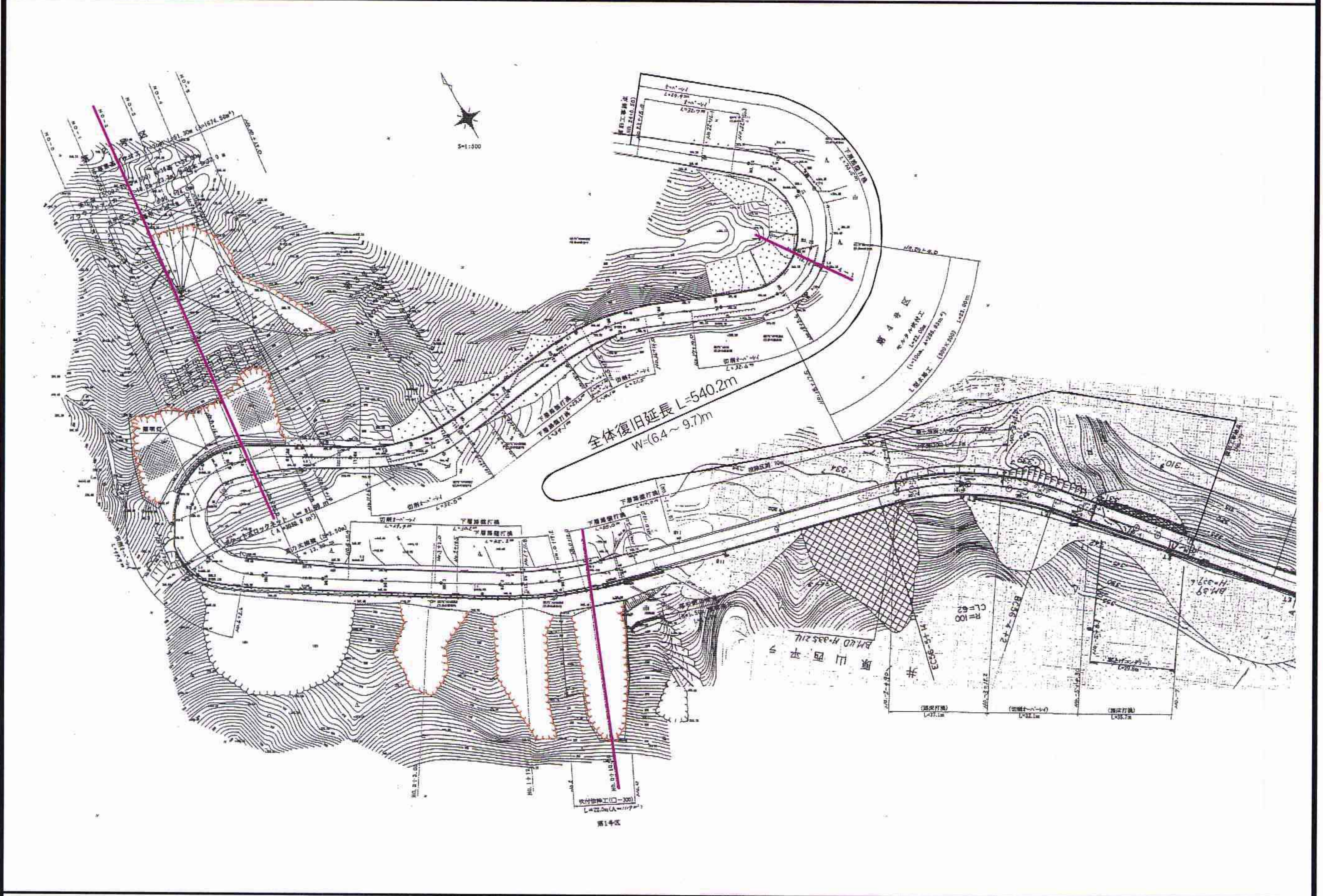


復旧状況写真



番号	12年災 第 317号	震央からの距離	8.1km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 11.8' / 東経133° 18.7'
河川名・線路名等	一般国道180号	工事概要	※No.2測線を主断面とする地すべりについては独立受圧板によるアンカー工で復旧させた。(安全率0.98→1.20) <input type="checkbox"/> アンカー工 (SFL-5相当, 4段, @4.0m) $l = 19.2 \sim 23.2\text{m/本} \times 60\text{本} = 776.7\text{m}$ <input type="checkbox"/> 水平ボーリング ($\phi 90$) $l = 24.0\text{m/本} \times 7\text{本} = 168.0\text{m}$ <input type="checkbox"/> 植生基材吹付工 ($t = 3\text{cm}$) $A = 1,674.86\text{m}^2$ <input type="checkbox"/> ポケット式ロックネット $A = 3,030.0\text{m}^2$ <input type="checkbox"/> モルタル吹付工 ($t = 10\text{cm}$) $A = 286.83\text{m}^2$ <input type="checkbox"/> 吹付法枠工 (F300-2000 \times 2000) $A = 2,674.0\text{m}^2$ <input type="checkbox"/> 舗装工 $A = 1,269.0\text{m}^2$
施工位置	鳥取県日野郡日野町福永		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	239,618 (内仮工事24,470) 千円		
被災状況及び形態	※被災箇所および被災形態は大きく4つに区分される。日南町側より、①落石を伴った斜面崩壊、②末端部が崩壊した地すべり、③モルタル吹付のり面の開口亀裂、④同じくモルタル吹付のり面の開口亀裂となっている。 ※また、震災後も、降雨により径1m程度の落石や斜面崩壊が発生し、道路は数度通行止めとなった。特に地すべり地下方は、仮設道路を設けての交通確保となった。 ※いずれも花崗岩の風化が素因となっている。特にモルタル吹付け面の背後はマサ化しており、モルタルの剥離が確認された。		

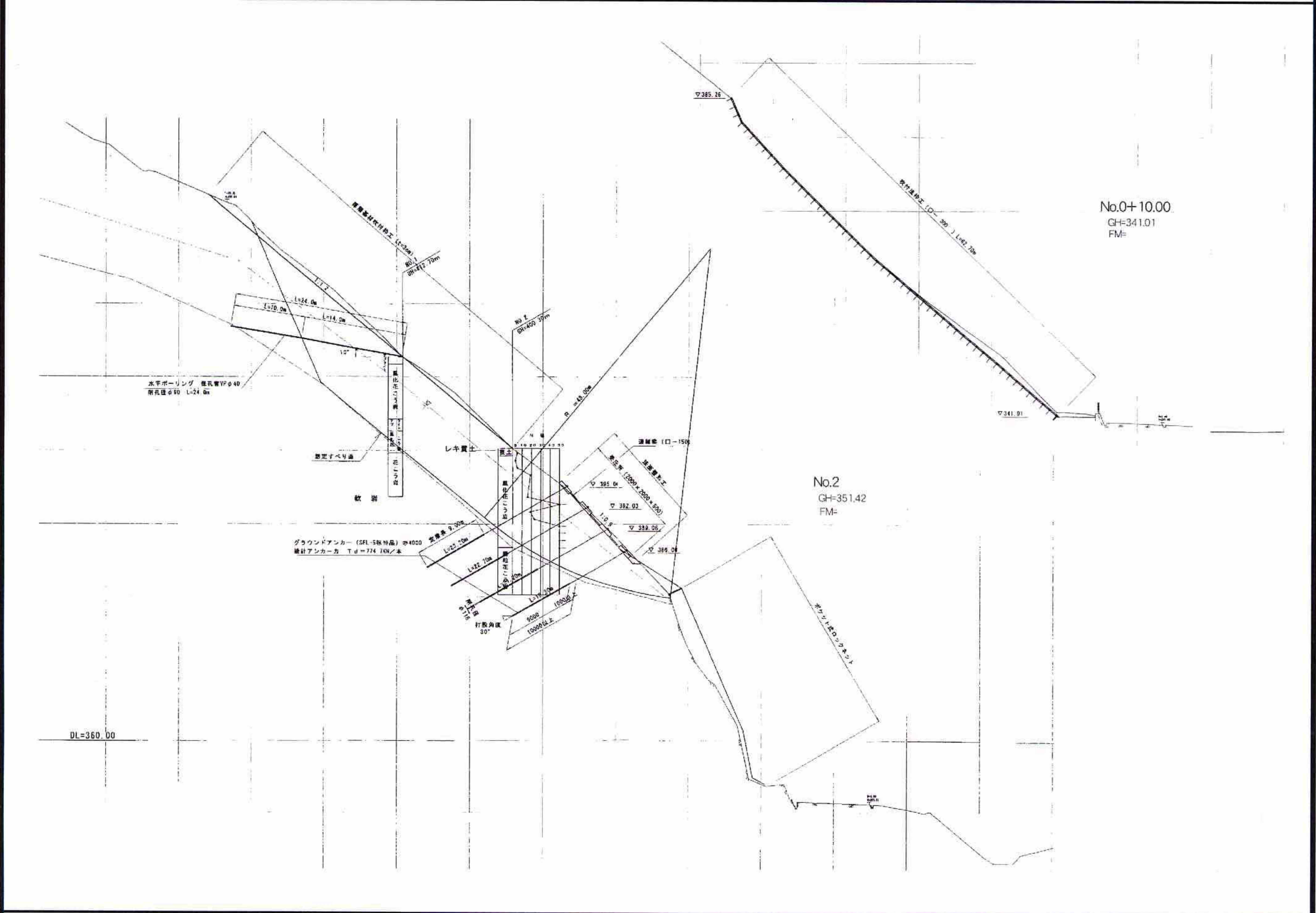
平面図 (S=1/2500)



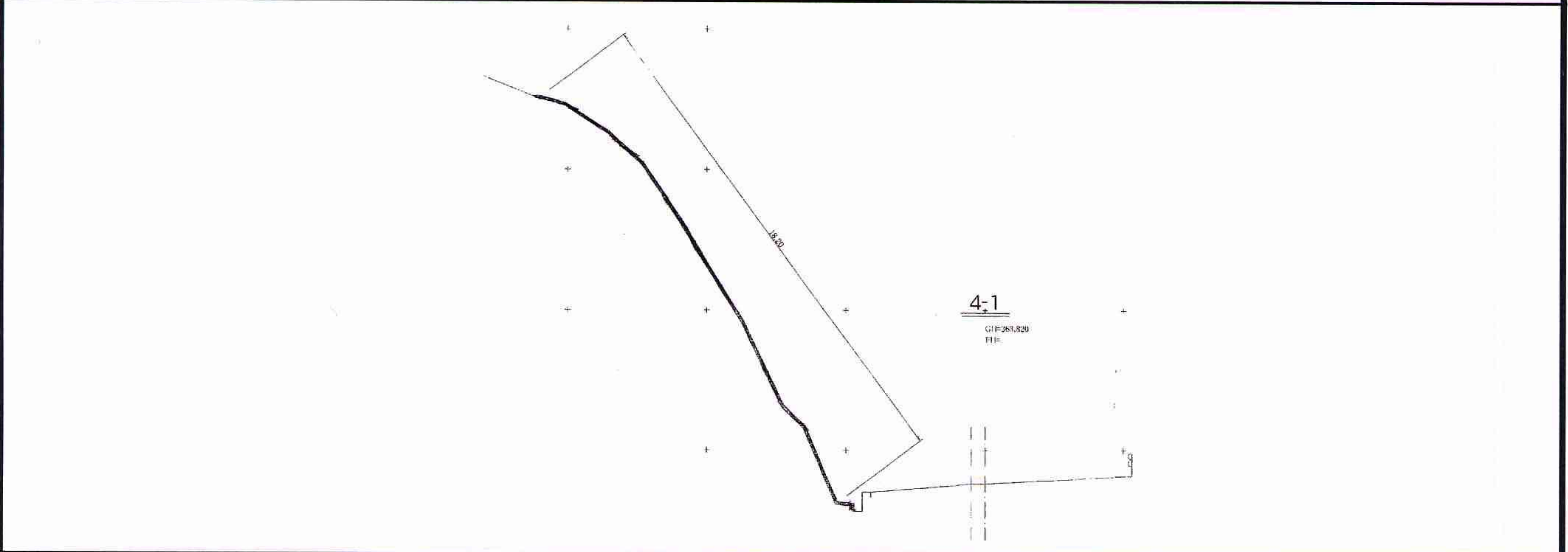
被災状況写真



断面図 (S=1/1000)



断面図 (S=1/300)

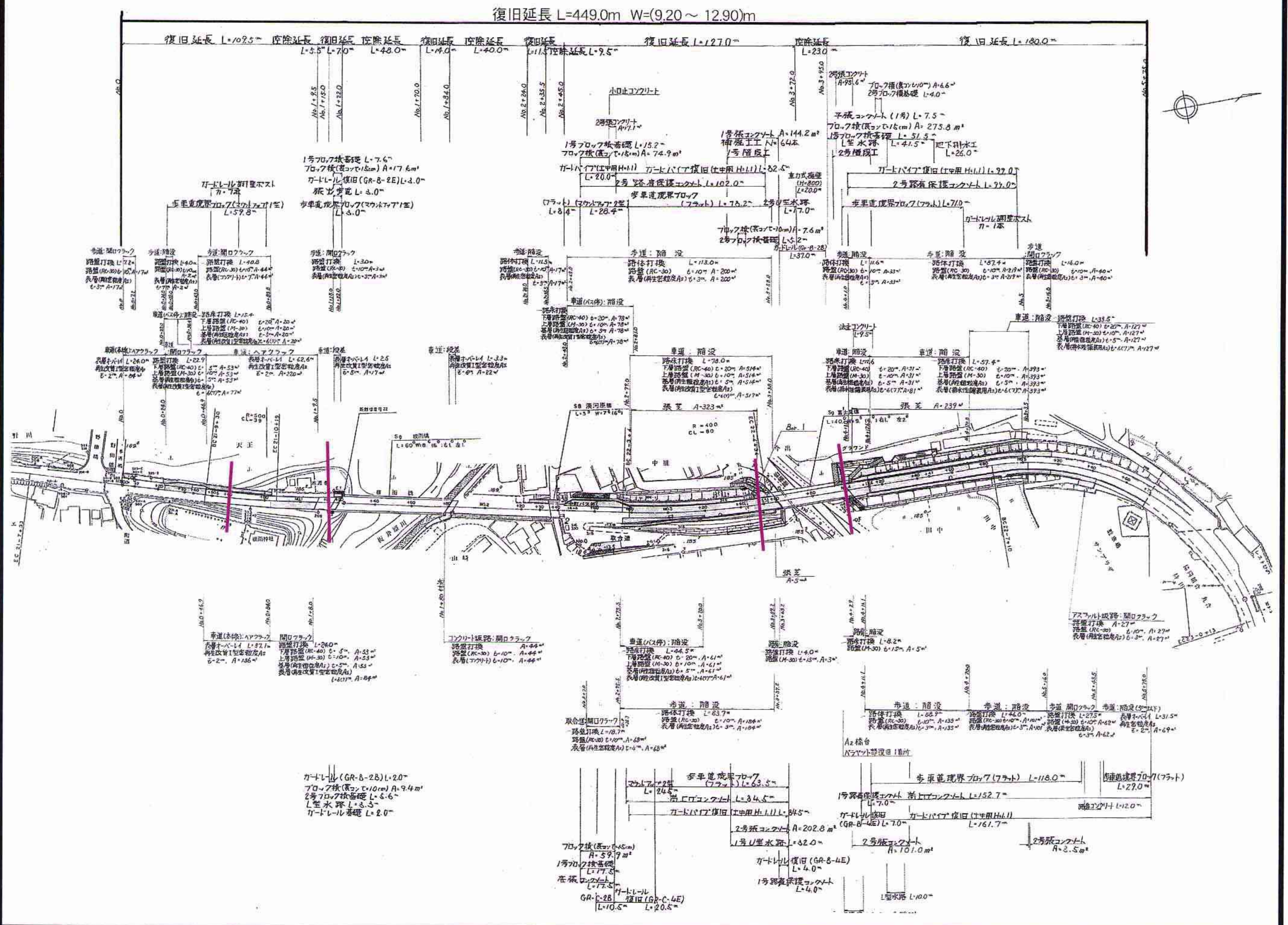


復旧状況写真



番号	12年災 第 323号	震央からの距離	8.0 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 14.1' / 東経133° 26.6'
河川名・線路名等	一般国道181号	工事概要	※No.3+40～55付近(左)の盛土部については、補強土壁工により復旧した。 □補強土壁工(ルートパイル工法) $\ell = 5.0 \sim 8.5\text{m/本}, N = 64\text{本}$ $A = 144.0\text{m}^2$ □ブロック積工(1:0.5, 控35cm, $t = 15\text{cm}$) $A = 509.0\text{m}^2$ □ブロック積工(1:0.5, 控35cm, $t = 10\text{cm}$) $A = 24.0\text{m}^2$ □2号張コンクリート工($t = 50\text{cm}, 1:0.5$) $A = 420.0\text{m}^2$ □表層工(改質I型 $t = 2 \sim 7\text{cm}$) $A = 845.0\text{m}^2$ □表層工(排水性 $t = 7\text{cm}$) $A = 601.0\text{m}^2$ □U型水路工 $L = 49.0\text{m}$
施工位置	鳥取県日野郡日野町根雨		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	105,680千円		
被災状況及び形態	※路面に段差や開口クラックが多数発生すると共に、富士見橋の parapet 背面土砂の沈下による段差の発生と周辺擁壁に著しい変状が生じた。		

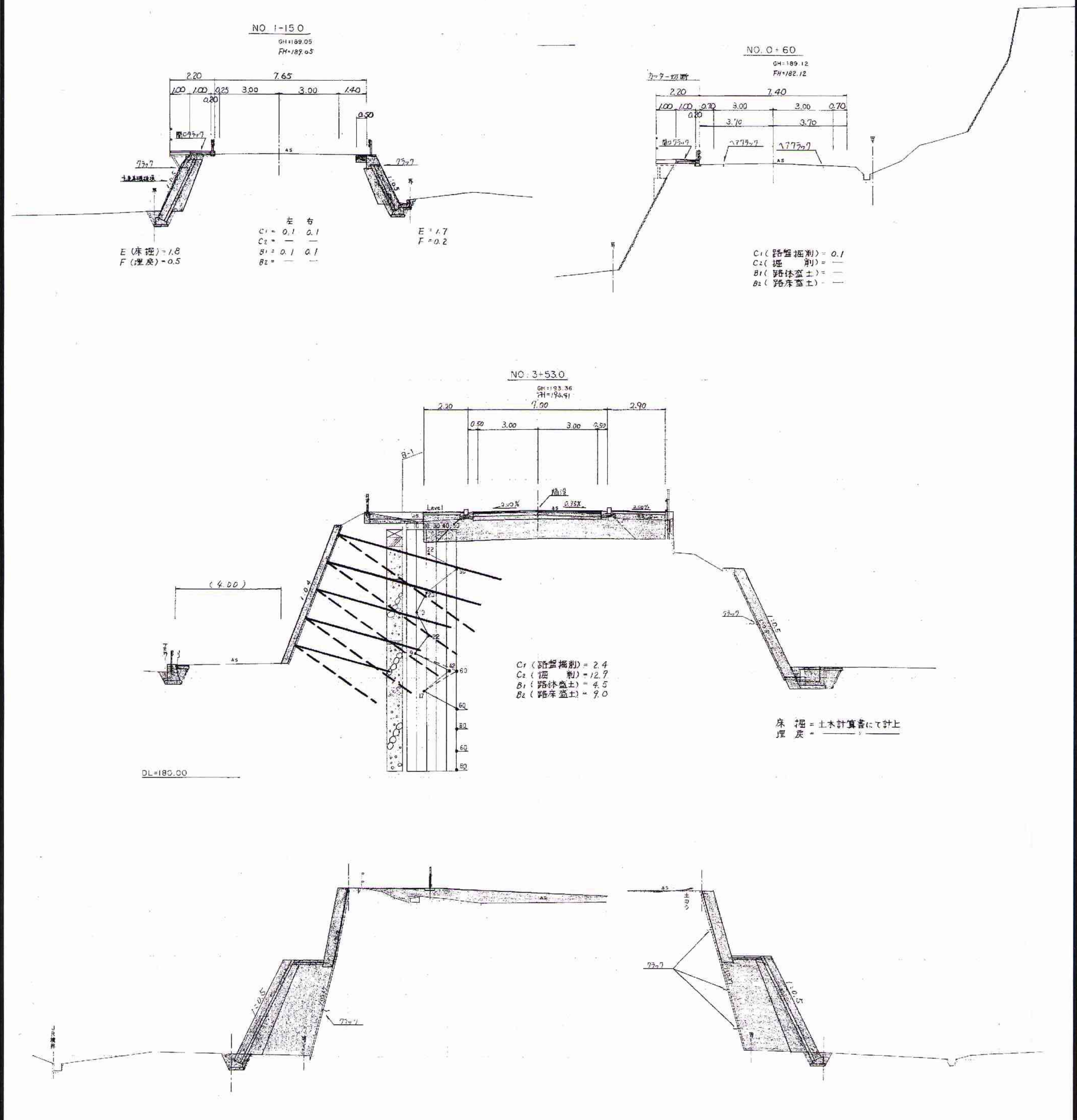
平面図 (S=1/4000)



被災状況写真



断面図 (S=1/300)



復旧状況写真

